

令和6年第16回天草市教育委員会定例会会議録

1 期 日 令和6年12月24日（火）午後4時10分開会

2 場 所 天草市役所 庁議室

3 本会議に出席した教育委員等

教 育 長	平 田 浩 一	委 員	木 下 えり子
委 員	行 合 八恵子	委 員	吉 森 啓 司
委 員	池 崎 教 授	委 員	小 林 景 子

4 本会議に出席した事務局職員

教 育 部 長	平 野 貢 司	教育総務課長	本 多 俊 隆
学校教育課長	福 田 稔	生涯学習課長	西 崎 正 和
文 化 課 長	小 川 隆 基	学校教育課審議員	松 本 祥 司
教育総務課施設係長	正 村 謙 一	学校教育課課長補佐	伊 形 英 朗
学校教育課教務係長	盛 田 達 矢	生涯学習課生涯学習推進係長	坂 本 真理子
生涯学習課中央図書館庶務係長	吉 田 悦 子	学校給食課課長補佐	宮 崎 奈 美
教育総務課総務企画係長	松 下 美 紀	学校教育課指導係参事	濱 田 祐 輔
文化課学芸員	宮 崎 俊 輔		

5 本会議に付した議題等

(1) 議題

なし

(2) 協議・報告

(1) 天草市立小・中学校のあり方検討会委員について

(2) 学校給食ふれあい給食について

(3) 令和7年1月行事予定について

6 会議の概要

(1) 開会

平田教育長： ただ今から、令和6年第16回天草市教育委員会定例会を開催する。傍聴人がいないことを確認する。

(2) 前回会議録の承認

平田教育長： 前回定例会の会議録であるが、何か意見はないか。なければ承認してよろしいか。
(全員承認する)

(3) 教育長報告

平田教育長： 今日は小中学校の終業式があり、明日から冬休みである。中学校体育館の空調が整ったところは暖かい体育館で式ができたと思う。11月12月も子供たちの活躍が光った。11月16日には天草市民センターにおいて幼稚園特別事業全国キャンペーン研修会が開催された。本渡北幼稚園、亀場幼稚園で準備を進められ、公開保育や実践報告が行われた。親子で楽しく運動遊びをする姿が見られ、実り多い研修会になった。両園は次年度は1園体制になる。今後も子どもたちが安心して過ごせる教育環境の充実に向け、連携して進めていってほしい。有明小学校で人権の花発表会があった。本渡東小学校から引き継いだ花の種をまき、元気な花が咲くようにお世話をするを通して、友

達と協力することや命を大切にすることを学ぶ内容である。次年度は本渡南小に引き継がれる。MOA美術館全国児童作品展において、河浦小4年の中舗さんが書写の部で文部科学大臣賞を受賞した。令和6年度熊本の心作文では、本渡中3年の梅本さんが最優秀賞を受賞した。「地域のつながりと私たちの暮らし」という題で、地域活動への参加による地域活性化についての内容であった。子どもたちが地域行事に積極的に参加している。各地域のイルミネーションの設置に貢献していると聞いている。認知症見守り訓練において、栖本小の活動が報告された。先生方の表彰もあり、優秀教職員表彰として、御所浦中学校の福本優子養護教諭が健康教育において表彰を受けた。園児、児童、生徒、先生方、冬休みはしっかり休んでほしい。

(4) 議題

なし

(5) 協議・報告

(1) 天草市立小・中学校のあり方検討会委員について

平田教育長：事務局より説明をお願いします。

本多教育総務課長：前回、名簿を出した時には1名まだ決まっていなかったが、10番の山本やよいさん、社会教育と地域学校協働活動推進員という立場で入っていただいた。この方を入れて10名で先日会議を行ったところである。

(2) 学校給食ふれあい給食について

平田教育長：事務局より説明をお願いします。

宮崎学校給食課課長補佐：学校給食課から学校給食週間ふれあい給食について説明する。学校給食週間については、毎年1月24日から30日までの1週間を全国学校給食週間として定め、様々な行事が行われている。教育委員会としても、市長、副市長、教育長、教育委員と子どもたちが給食の時間に触れ合いながら会食する、ふれあい給食を実施したいと考えている。対象校については小学校とし、昨年実施されていない学校を優先してお願いしたいと考えている。日程については、市長、副市長、教育長、教育部長が来校される学校においては、公務の都合上、1月30日木曜日に実施予定である。教育委員については、日程を調整させていただきたい。また、1月24日から2月2日まで、天草文化交流館で児童生徒の習字や絵画など、給食に関する作品展を開催することになっている。ぜひ、足を運んでご覧いただきたい。

(3) 令和7年1月行事予定について

平田教育長：事務局より説明をお願いします。

本多教育総務課長：1月の行事予定は、1月3日、4日に二十歳のつどい、5日が出初め式、6日に仕事始め、8日が始業式である。また、1月もリーディングDX公開授業があり、10日が御所浦小学校、17日が御所浦中学校の予定である。19日は天草マラソン大会、24日から30日までが学校給食週間である。24日はリーディングDX公開授業が本渡南小学校、本渡中学校が予定されている。なお、教育委員会定例会は28日予定である。また、幼稚園訪問が29日亀場幼稚園、30日本渡北幼稚園の予定である。

7 その他

平田教育長：その他で事務局や委員から何かないか。

小川文化課長：史跡棚底城跡ガイダンス施設及び倉岳支所建設について報告させていただく。施設建設については、令和6年第1回教育委員会定例会において基本構想について説明したところだが、この度、基本設計が完了したので、その内容を説明させていただく。本

施設は、本市の国指定史跡である棚底城跡の価値、天草一揆衆の歴史・城郭を分かりやすく紹介するために、また、法定耐用年数を超過した倉岳支所を新しく併設することを建設の基本方針としている。資料は基本設計の概要版で、施設全体の完成予想図を示している。建設場所は、棚底城跡と国道266号に隣接する場所で、施設は景観に配慮した木材及び鉄筋コンクリートと鉄骨を用いた平屋の施設である。向かって左側が倉岳支所、右側がガイダンス施設、そして、これらを繋ぐ場所を交流エリアとしている。資料右上の写真が支所の執務室のイメージ図で、梁、カウンター、ベンチに天草産材を使用する。その下の写真が交流エリアのイメージ図であるが、図書室、本棚等に天草産材を使用し、一番下がガイダンスエリアのイメージ図であるが、こちらも同様に梁を中心に天草産材を使用する。壁は鉄筋コンクリート、柱は鉄骨、床はタイルカーペット、交流エリアの一部分には靴を脱いでくつろげる場所を設ける。次に建物にある倉岳支所、交流エリア、ガイダンス施設、広場、駐車スペースの配置図では、広場が2カ所、だんだん広場はマルシェ会場など多目的に利用できる。だんだん広場に面する部分は、ここらすのように広場に対して開かれた印象が抱けるデザインにする。この部分には270cmの底を設置する。倉岳支所は市民に身近な行政サービスの提供拠点として、これまでと同様に一般行政、まちづくり、防災等の機能が十分に発揮できるように設計している。執務室はお客様に分かりやすい場所に会議室と並列し、入口から近い場所に設置することで利便性を高くしている。また、防災拠点機能の一つとして、非常用電源を設置する。交流エリアは様々な利用者が出会う交流の場として、ガイダンス施設と倉岳支所、二つの広場をつなぐ場所にする。開放的な空間に図書室と多目的室を設置し、トイレ、授乳室を設置する。交流エリアのエントランスは観光地と文化財をセットで周遊したくなるようなルートなど、天草の魅力を発信する場所として整備する。ガイダンス施設は棚底城跡の本質的価値をメインに紹介するほか、天草諸島の自然と歴史の概要、戦国時代の天草、棚底城跡をはじめとする中世城郭群に関する展示を行い、棚底城跡を楽しみながら学べるコーナーを設置する。次に、ガイダンス施設の展示室の構成について、棚底城跡の本質的価値を構成する各セクションで紹介する。入口は向かって左側円形部分、天草再発見広場から入っていただく。ここでは、展示の導入として天草諸島の大地や文化、人々の暮らしなど様々な構成要素を用いて天草全体の紹介を行う。天草再発見広場を通り抜けると棚底トンネルになるが、壁面に映像を投影し、地理的条件を含めた棚底の価値、歴史背景を理解する場所となる。ここを通り抜けて進むと目の前にはガラス越しに見える棚底城跡が広がる。また、このスペースは次のシアタールームに進むまでのフリースペースとして利用していただくこととしており、本棚や子どもの秘密基地を設置する。次に進んでいくと天草戦国シアターになる。こちらは緊迫した天草5人衆の関係性を中心に、中世天草の歴史ドラマを通して棚底の歴史的価値を理解していただき、棚底城跡への興味の喚起につなげる。右へ進むと、人と城郭の部屋、ここでは棚底城での人々の活動の様子や城郭構造の100分の1模型や出土品を展示して、城郭の遺構の調査・研究への興味を高めていただき、関連する城郭を紹介する。次に下に進むと、考古ラボ、ここでは発掘調査や整備事業がどのようなものかを学んでいただくほか、現地探索をゲーム仕様映像構成により、城跡に登れない事情を抱えた方にも棚底城を体感していただき、関連する文化財への周遊意欲を高めていただく。最後に城郭体感パークは、遺構アスレチック、剥ぎ取り原寸大模型など、ここでしか体験できない棚底らしい遊具で子どもたちも楽しみながら城郭構造や遺構が学べる場所にする。以上が、基本設計の主な内容である。最後にスケジュールについて、建設用地に関するものから建築まで示しているが、本施設は令和8年度中に供用開始を目指している。建設用地については、用地取得、農地転用の許可の手続きが完了している。建設用地の造成工事は現在着工中だが、本年度と来年度の2期に分けて行うこととしている。施設の建築・展示設計業

務はプロポーザルにより選定した業者に委託しており、年度内に実施設計が完了する予定である。施設の建設は工期を令和7年7月から令和8年8月までで、ガイダンス施設のロゴマークの製作等については、施設の建設の状況を見ながら進めていく。

池崎委員： 施設内での飲食はできるのか。

小川文化課長： 飲食のスペースは設ける計画であるが、完全な調理などができるかどうかは難しい。

西崎課長： 1月の行事予定で説明があったが、1月3日と4日に二十歳のつどいがある。教育長はじめ教育委員の皆様方にはご案内しているが、2日間ご対応よろしく願います。図書館だよりをお配りしているが、この中で平田昌広さん絵本ライブを12月15日に開催した。午前、午後で150人の来場者が親子連れであり、かなり盛大に終わった。また、中央図書館主催の今年の一字には「楽」が選ばれている。明るい話題として、あましんスタジアムや御所浦恐竜の島博物館のオープンなどワクワクする話題が多かったこと、コロナの規制から和らいでいるなどのご意見が書かれていた。もう1点、中央図書館について、錦戸企業グループ様から寄付を頂いた100万円について、児童図書の購入が500冊ほど終わったので、年明けに目録とお礼状を持って錦戸企業グループ様にお礼に伺う予定である。

8 閉会

平田教育長： 事務局から他に何かないか。なければ以上をもって、本日の会議を閉じる。大変お疲れさまでした。